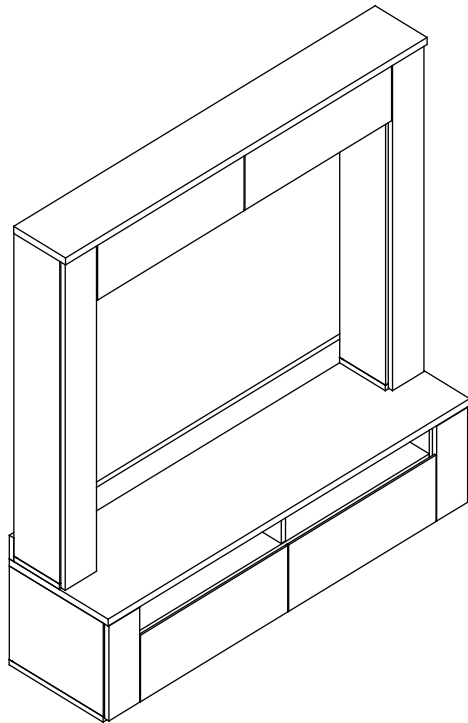


鏡面ハイタイプテレビ台 150cm幅 HGTV-150



取扱・組立説明書

TV378 ver. 1

MADE IN CHINA

この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱・組立説明書を最後までお読みの上、正しい使い方で末永くご愛用下さい。
なお、この説明書はいつまでもご覧頂けるように大切に保管して頂きますようお願い申し上げます。



使用上の注意

- 本品は屋内用です。
- 移動する際は、必ず、載せているものを全て取り除いてから引きずらないよう持ち上げて移動して下さい。収納物や商品の転倒、破損ケガの原因になります。
- 必ず水平で安定した場所に設置して下さい。
- ストープのそば等、高温多湿の場所での使用は避けて下さい。変形や変色の原因になります。
- 水分、油、洗剤等が付着した場合は、素早くふき取して下さい。
- 粘着物をはりつけると、棚板の表面がはがれる恐れがありますので、テープやシール等は貼らないで下さい。
- 天災などの不可抗力や、不当な修理、改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。
- ダンボール箱からの取り出しや組立は、2人以上で行って下さい。

点検・お手入れについて

- 汚れをおとす際は、薄めた中性洗剤で拭いた後、固く絞った布等で完全に洗剤分を拭きとって下さい。水分等が残りますと後が残る恐れがあります。アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉等は使用しないで下さい。
- ネジ類は、その取り付けが確実かどうか、定期的に点検して下さい。

製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら、
ご遠慮なく右記までご連絡下さい。

株式会社ホームテイスト

組立て前に必ずよくお読み下さい。

● ご準備頂くもの

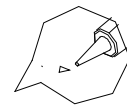
- ・プラス(+)ドライバー
- ・はさみ、またはカッターナイフ
- ・少し大きめのダンボール、またはやわらかい布(タオルや布団等)

※ 組み立て時の注意

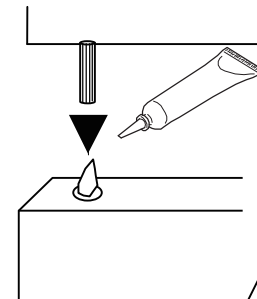
- ・ 安全に組み立てるために2人以上での組立をお勧めします。
- ・ 組み立ては平らな場所で、床などに傷がつかないようにダンボールや柔らかい布等を敷いて行ってください。
- ・ 最初はゆるめに組んでおき、最後に全体のバランスを見ながらしっかりとネジを締めてください。
- ・ 部品は正確に取り付けてください。

● 次の部品や小物を使用する場合は、 必ず下記の要領を守って正しく組立てて下さい。

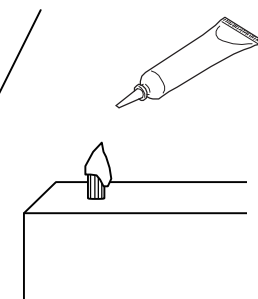
① ボンド・ダボ(接着について)



このボンドマークがあるところでは、下記のようにボンドを使用します。

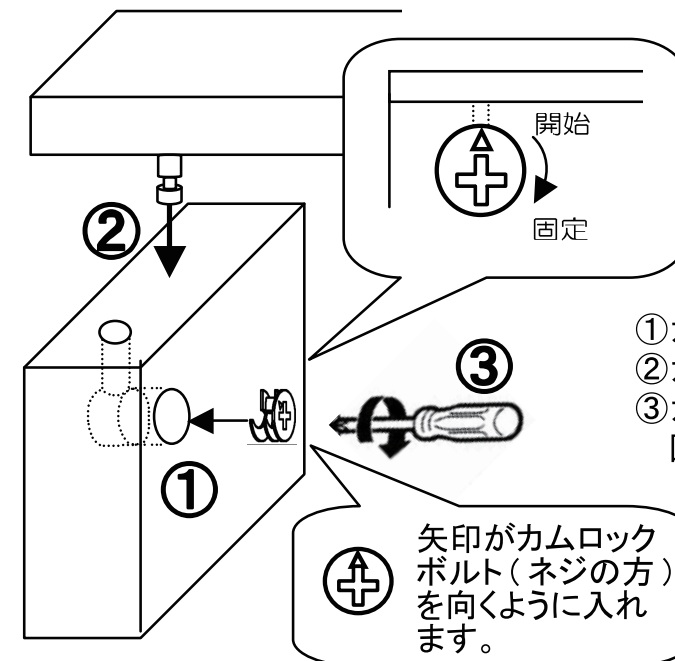


・ダボ穴にボンドを垂らし、
ダボをその上から差し込む。



・ダボに直接ボンドを垂らし、
穴の部分をかぶせて取り付ける。

カムロック受け・固定方法

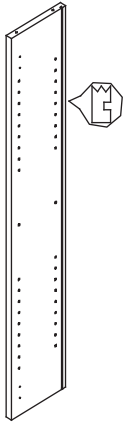

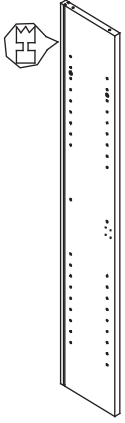
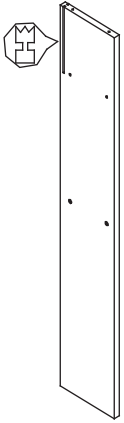


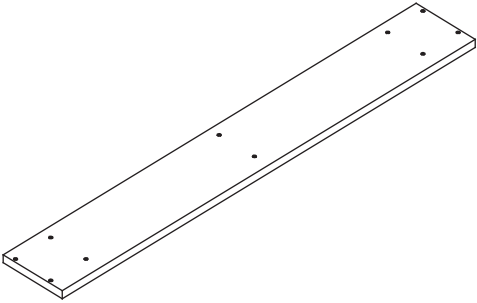
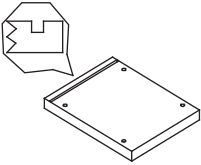
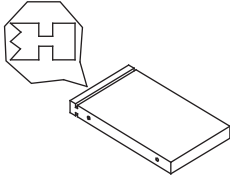
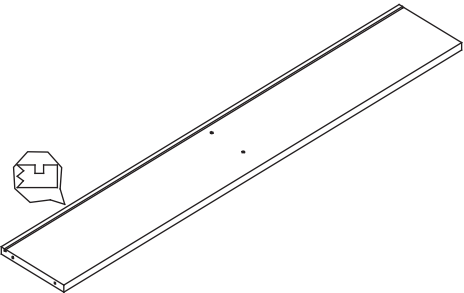

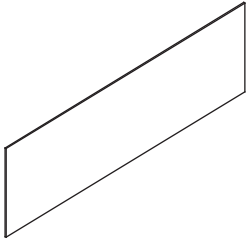
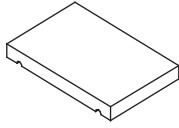
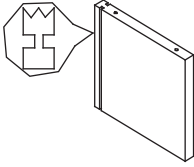
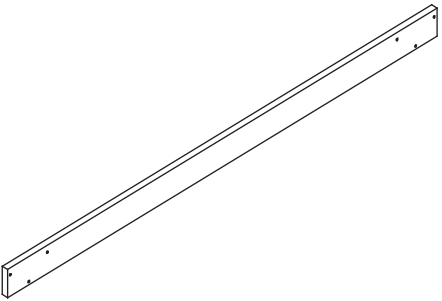
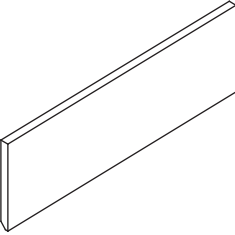


※カムロックは取り付けが確実かどうか、
定期的に点検してください。

- ①カムロックボルト(受け)を穴に入れます。
- ②カムロックネジを、受けの方に入れます。
- ③カムロックネジを+ドライバーで135°～180°
回してください。

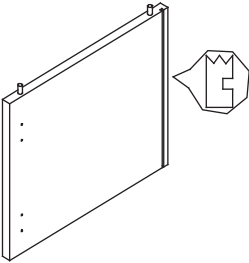
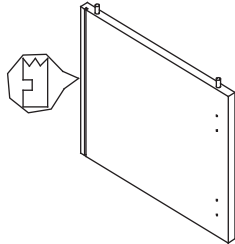
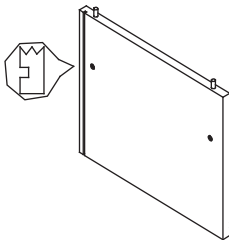
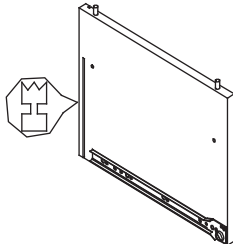
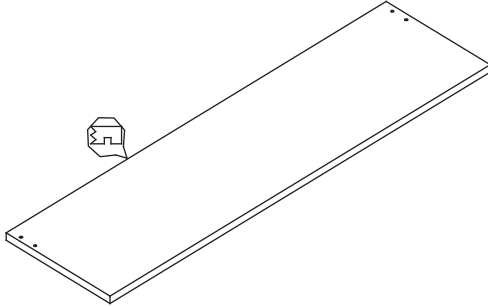
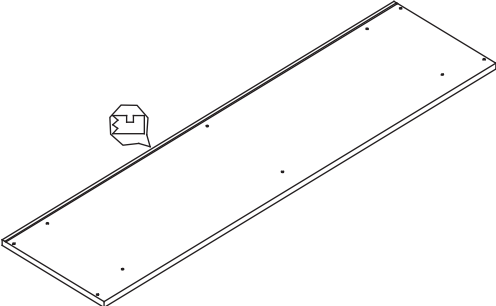
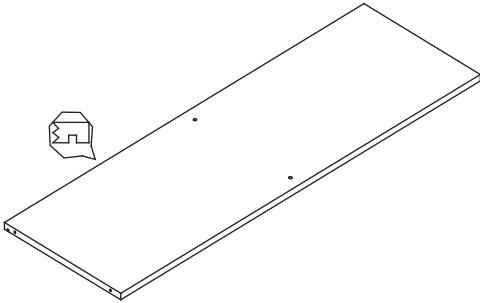
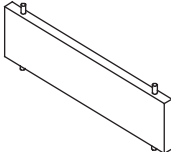
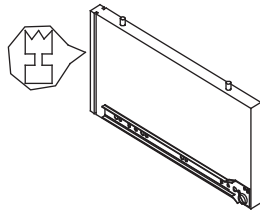

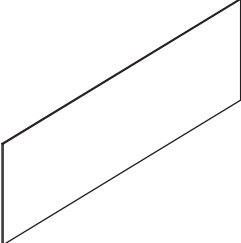


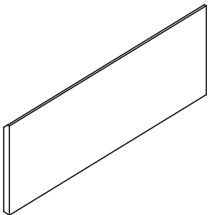
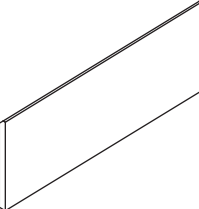
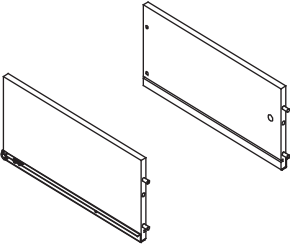
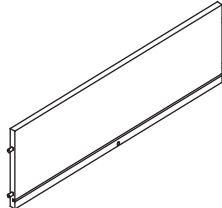
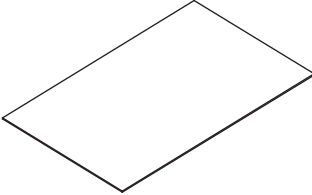
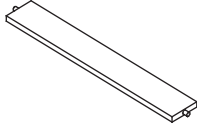
矢印がカムロック
ボルト(ネジの方)
を向くように入れ
ます。

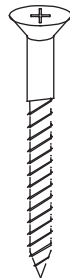
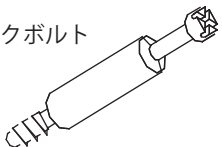

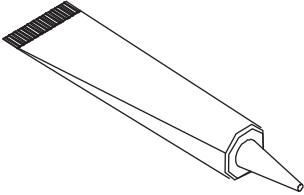
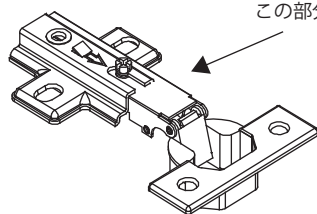

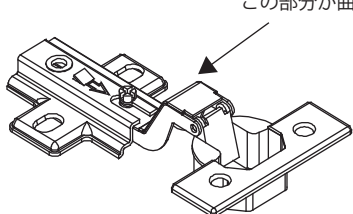

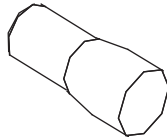
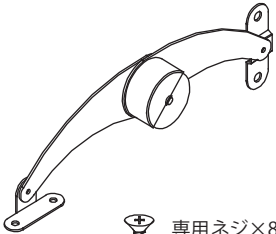
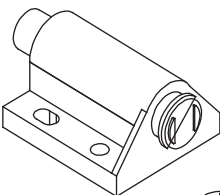
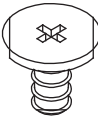

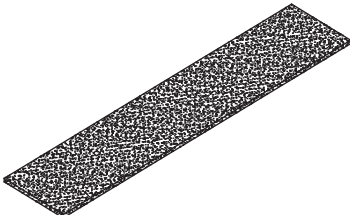
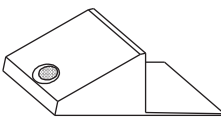
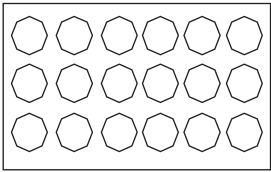
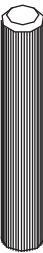
■上棚用部材一覧 ①～⑯までの部材は、上棚を組み立てる際の部材になります。

<p>①左側板×1</p> 	<p>②右側板×1</p> 	<p>③左仕切り板×1</p> 	<p>④右仕切り板×1</p> 	<p>⑤左扉×1</p> 
<p>⑥右扉×1</p> 	<p>⑦天板×1</p> 	<p>⑧左右地板×左右各1</p> 	<p>⑨固定板(小)×2</p> 	<p>⑩固定板(大)×1</p> 
<p>⑪左右棚用背板×4</p> 	<p>⑫中央棚用背板×2</p> 	<p>⑬可動棚×8</p> 	<p>⑭中央仕切り板×1</p> 	<p>⑮補強板×1</p> 
<p>⑯中央扉×2</p> 				

■ 下本体用部材一覧 ①⑦～③⑤までの部材は、下本体を組み立てる際の部材になります。

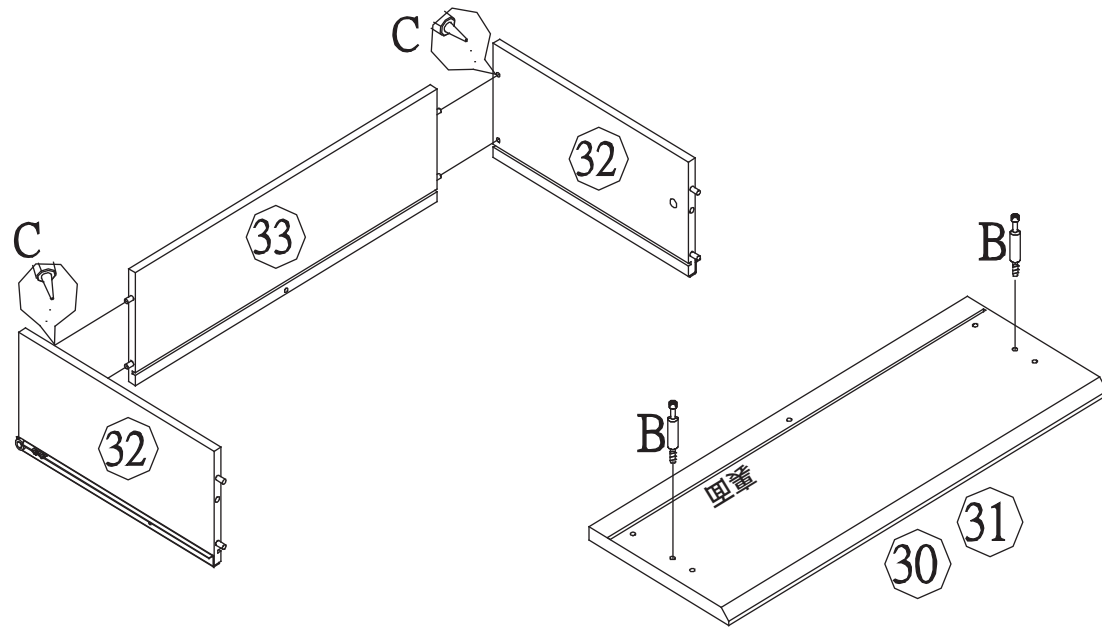
TV-378

<p>①⑦左側板×1</p> 	<p>①⑧右側板×1</p> 	<p>①⑨左仕切り板×1</p> 	<p>②⑩右仕切り板×1</p> 	<p>②①天板×1</p> 
<p>②②地板×1</p> 	<p>②③固定板×1</p> 	<p>②④中央仕切り板(小)×1</p> 	<p>②⑤中央仕切り板(大)×1</p> 	<p>②⑥背板(小)×2</p> 
<p>②⑦背板(大)×2</p> 	<p>②⑧左扉×1</p> 	<p>②⑨右扉×1</p> 	<p>③⑩左引出し前板×1</p> 	<p>③①右引出し前板×1</p> 
<p>③②引出し左右側板×左右各2</p> 	<p>③③引出し奥板×2</p> 	<p>③④引出し底板×2</p> 	<p>③⑤引出し補強板×2</p> 	

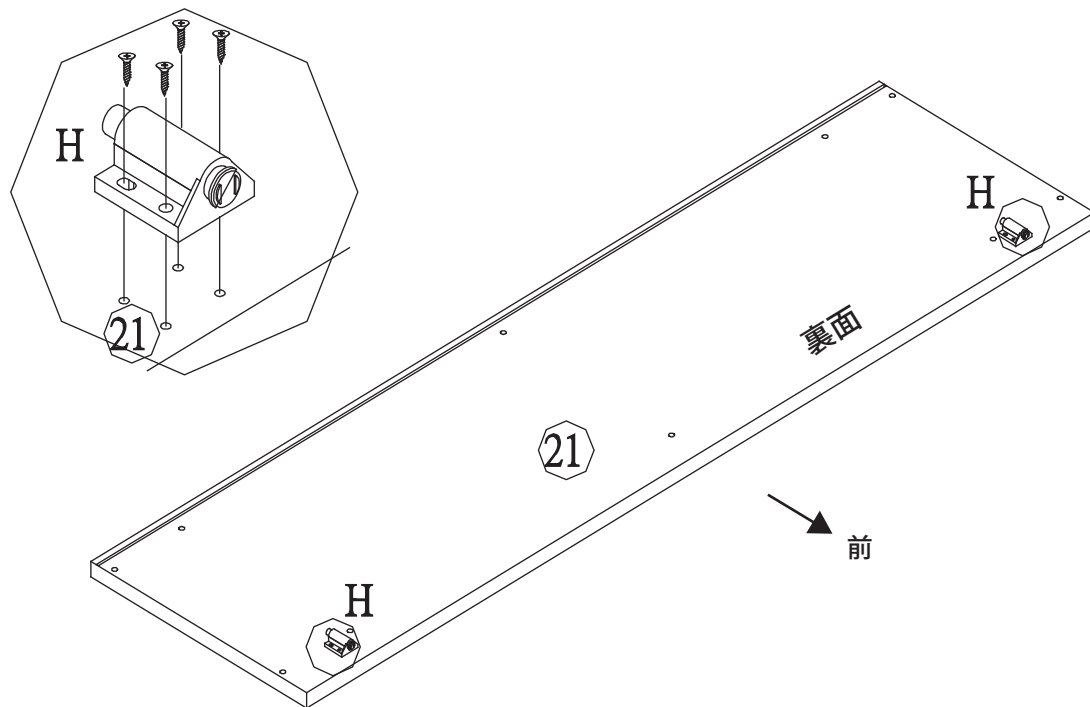
<div>A:ネジ大×52</div> <div><div>5.5*45KA</div></div>	<div>B:カムロック×4セット</div> <div><div><div>カムロックボルト</div></div><div><div>カムロック受け</div></div></div>	<div>C:ボンド×1</div> <div></div>	<div>D:ヒンジAタイプ×8</div> <div><div><div>この部分がまっすぐです</div></div><div><div>ヒンジ用ネジ×32 4*15KA</div></div></div>	<div>E:ヒンジBタイプ×4</div> <div><div><div>この部分が曲がってます</div></div><div><div>ヒンジ用ネジ×16 4*15KA</div></div></div>
<div>F:棚ダボ×32</div> <div></div>	<div>G:ステーヒンジ×2</div> <div><div><div>専用ネジ×8 3.5*12KA</div></div><div>※専用ネジはプラスチックケースに入っています。</div></div>	<div>H:マグネット×4</div> <div><div><div>専用ネジ×16 3.5*15KA</div></div><div>※専用ネジはプラスチックケースに入っています。</div></div>	<div>I:マグネット受け×4</div> <div></div>	<div>J:連結プレート×2</div> <div><div><div>専用ネジ×8 3.5*12KA</div></div></div>
<div>K:床保護シート×3</div> <div></div>	<div>L:背板ストッパー×16</div> <div><div><div>専用ネジ×16 3*18KA</div></div><div>※専用ネジはプラスチックケースに入っています。</div></div>	<div>M:ネジ隠しシール×18</div> <div></div>	<div>N:連結木ダボ×4</div> <div></div>	

最初に下本体の組み立てを行います。使用する部材は、①⑦～③⑤です。

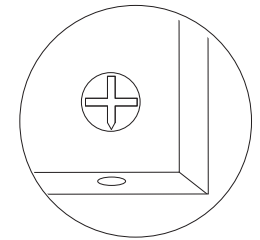
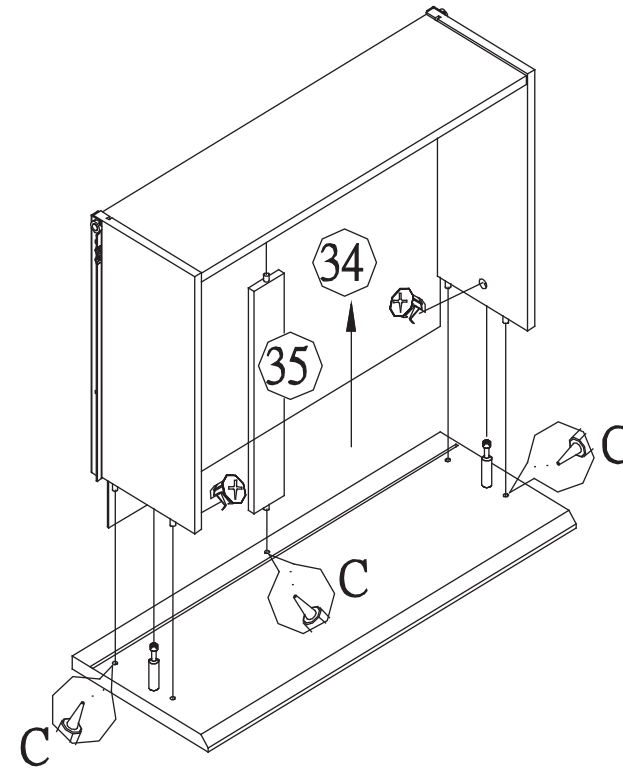
- 1** まず引出しを組み立てます。③③引出し奥板に、③②引出し左右側板をC:ボンドを使って取り付けます。さらに③①引出し左右の前板の裏面の図の位置に、B:カムロックボルトを取り付けます。



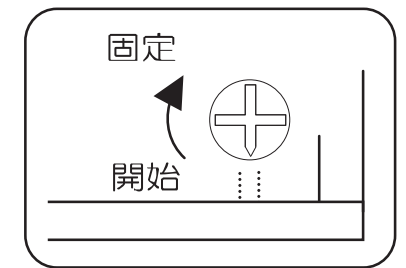
- 3** ②①天板の裏面に、H:マグネットを専用ネジを使って取り付けます。この際、マグネットの向きにご注意下さい。(押すと飛び出る方が前側になります。)



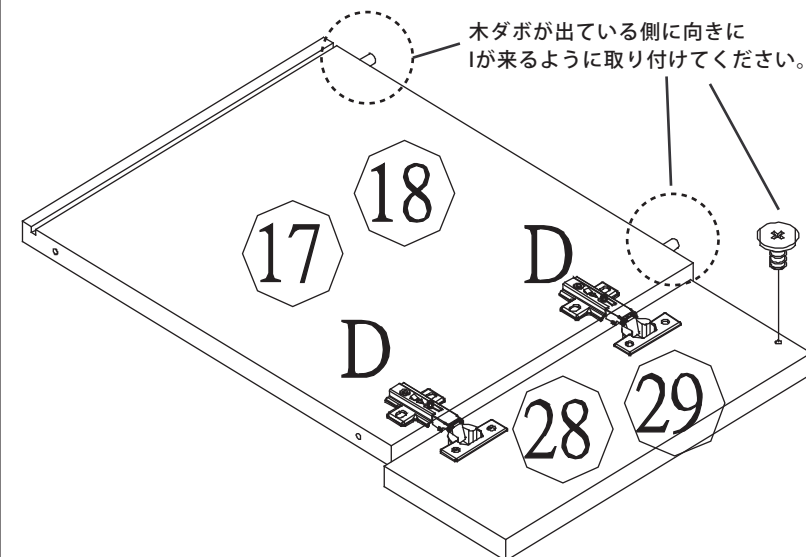
- 2** 引出し本体に③④引出し底板を差し込み、その裏に③⑤引出し補強板をC:ボンドを使って取り付けます。さらにひきだし左右側板にB:カムロック受けを取り付け、B:カムロックとC:ボンドで引出し本体に引出し前板を取り付けます。



カムロック受けは、三角の目印が穴の開いている向きに来るように取り付けます。

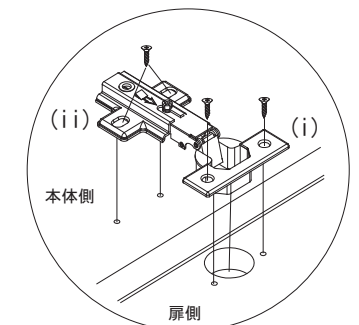


- 4** ①⑦⑧左右側板と②⑧⑨左右扉を、D:ヒンジタイプAを使って取り付けます。さらに扉にI:マグネット受けを取り付けます。この際、扉の上下にお気をつけ下さい。(①⑦⑧の木ダボが出ている側に、扉マグネット受けが来るように取り付けてください。)



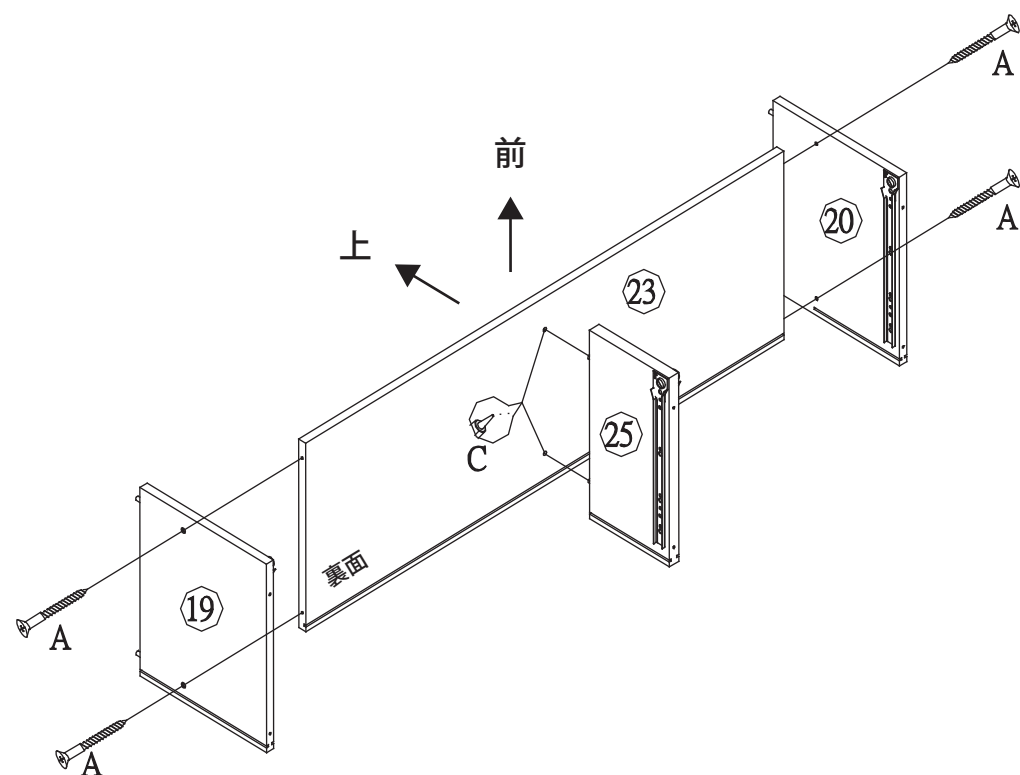
木ダボが出ている側に向きにIが来るように取り付けてください。

先に(i)扉側にヒンジを取り付け、次に(ii)本体側にヒンジを取り付けます。

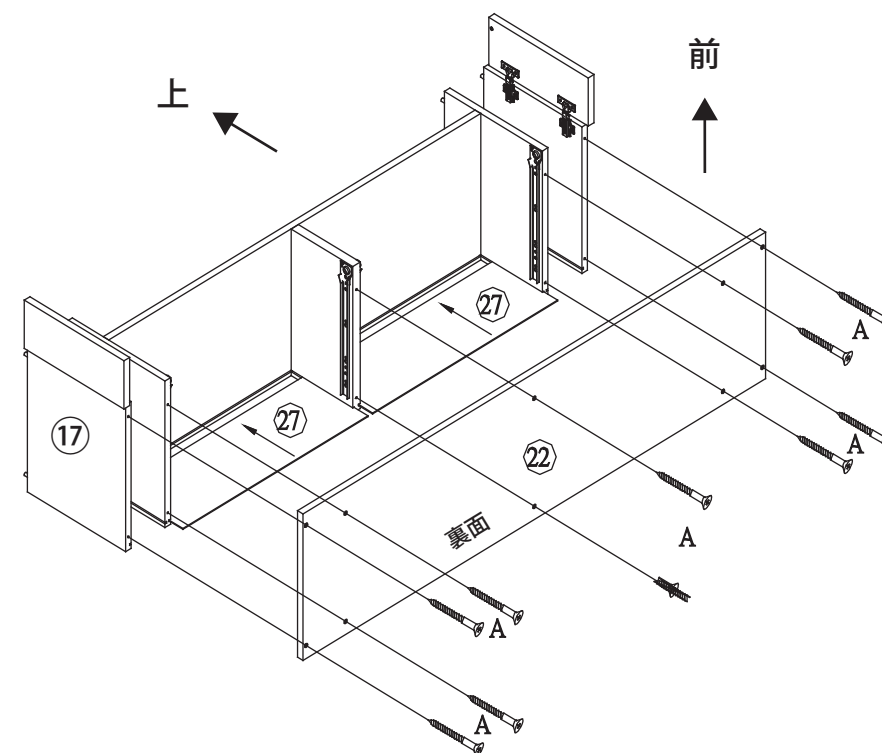


※ドアヒンジの詳しい調整方法は別紙をご覧ください。

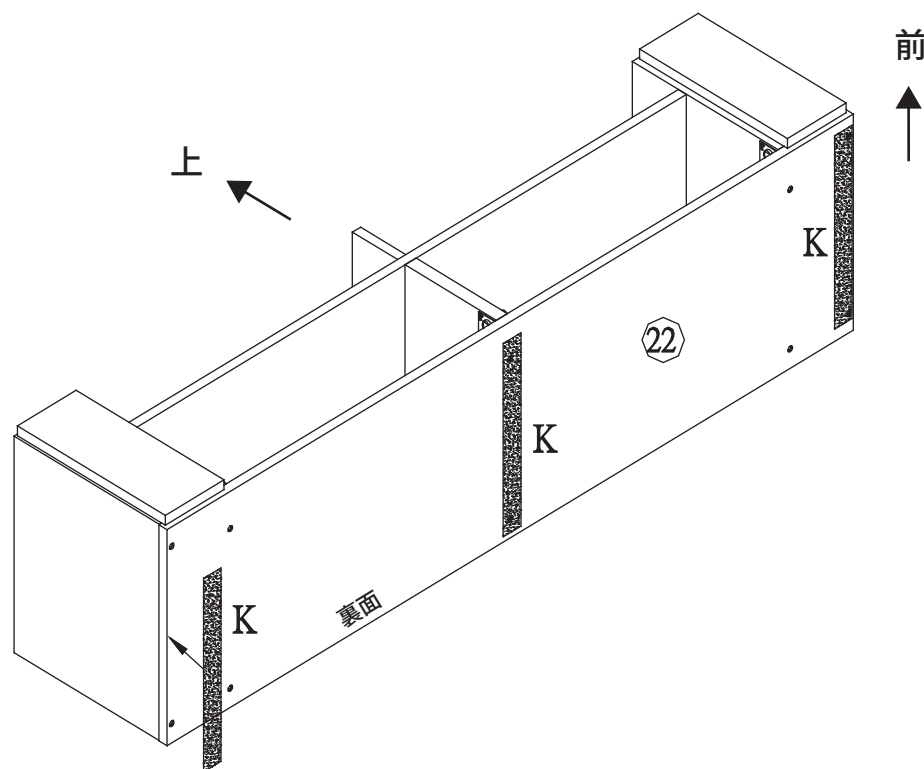
- 5** ②③の裏面にC:ボンドを使って②⑤中央仕切り板(大)を取り付けます。
さらに②③に①⑨②⑩左右仕切り板をA:ネジ大を使って取り付けます。



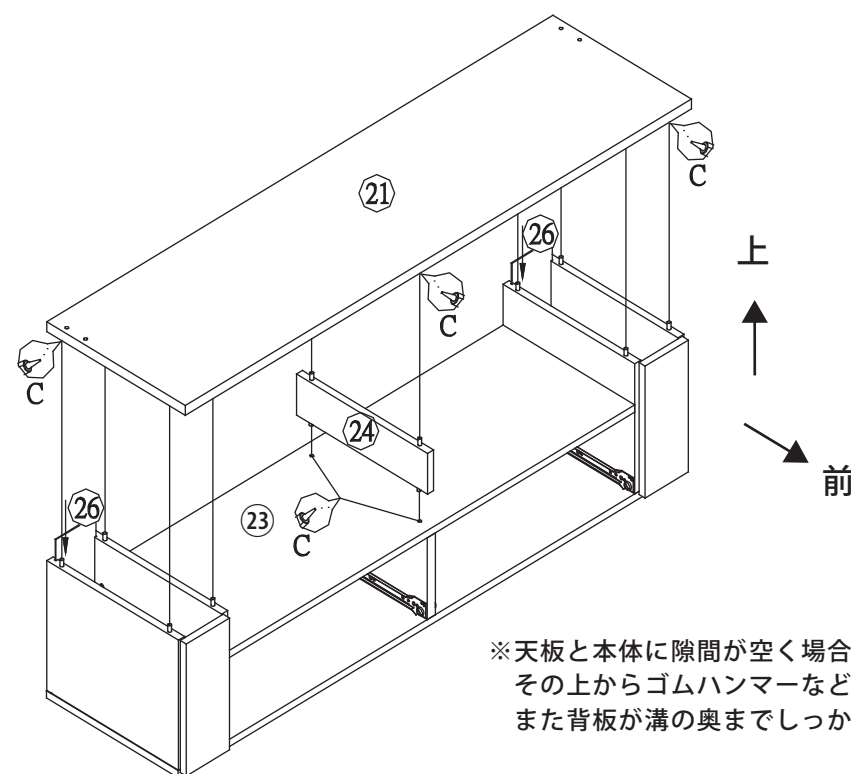
- 6** STEP5で組み立てた本体に、②⑦背板(大)を奥までしっかりと差し込みます。
そこに②②地板をA:ネジ大を使って本体に取り付けます。
さらに②②の両端に、STEP4で組み立てた①⑦①⑧左右側板をA:ネジを使って取り付けます。



- 7** ②②の裏面の左右と中央に、K:床保護シートを貼り付けます。

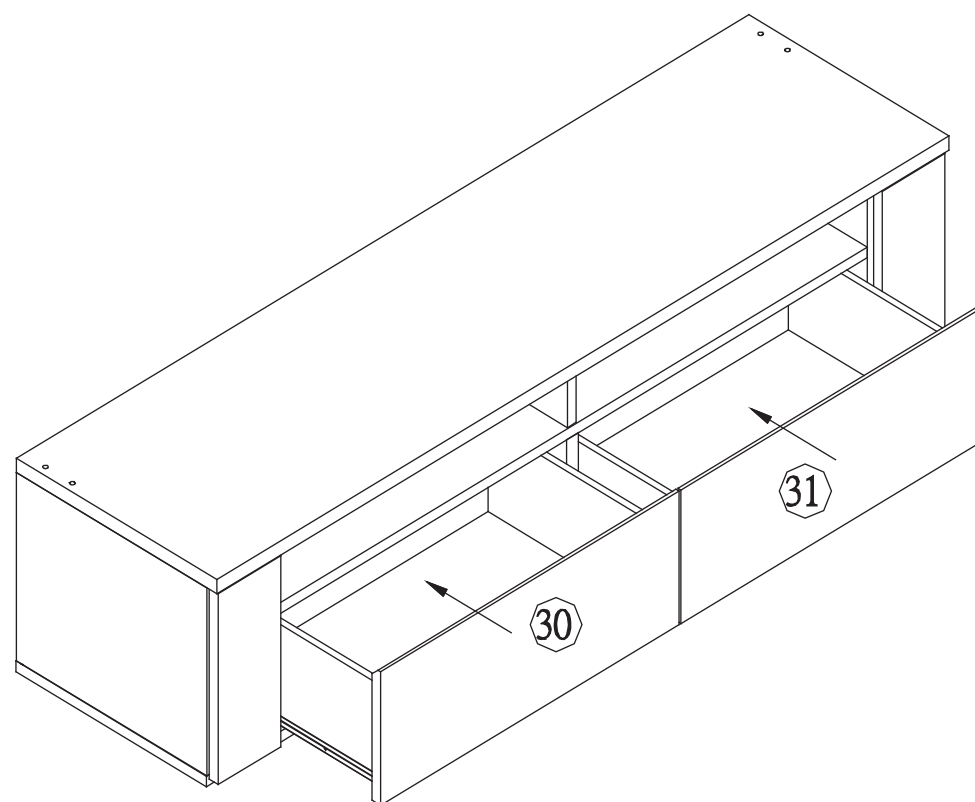


- 8** 本体を静かに起こし、②③固定板に②④中央仕切り板(小)をC:ボンドを使って取り付け、
②⑥背板(小)を奥までしっかりと差し込みます。
さらに②①天板を、C:ボンドを使って本体に取り付けます。

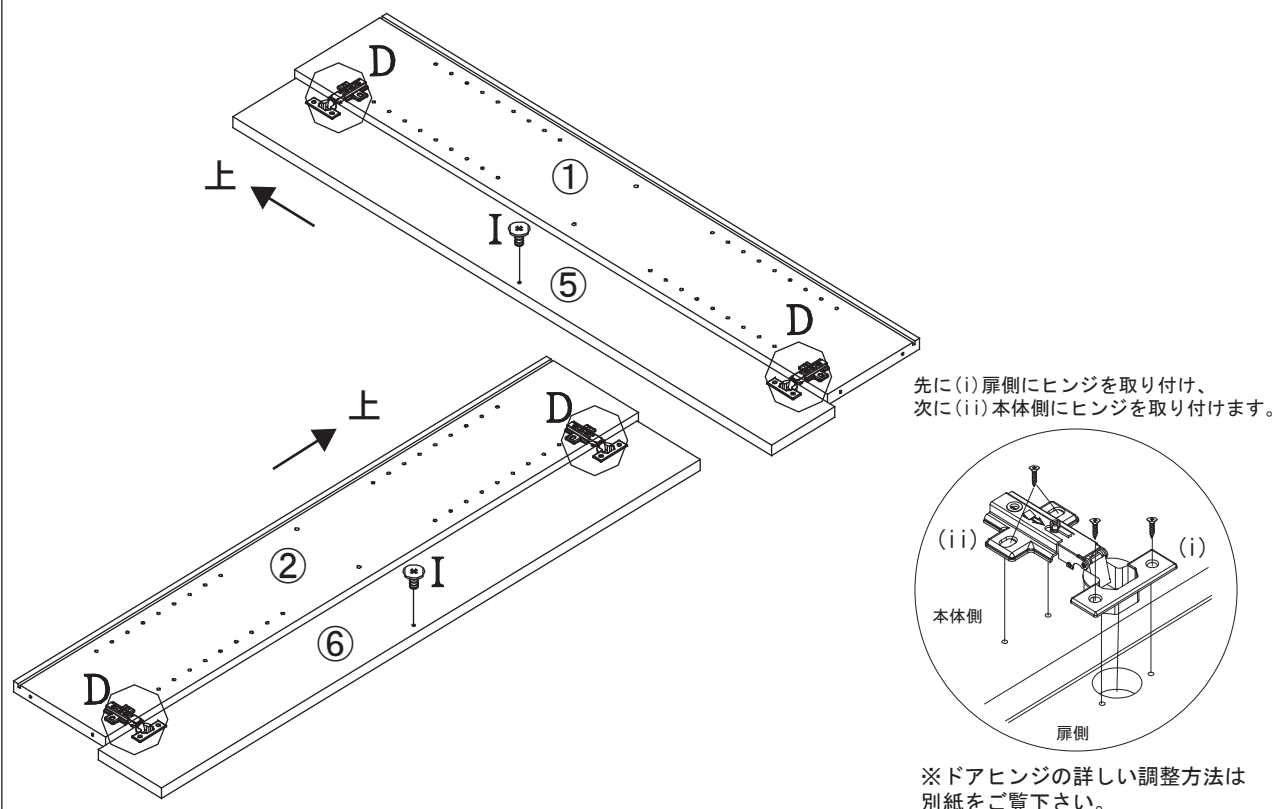


※天板と本体に隙間が空く場合は、天板に雑誌などを敷き、
その上からゴムハンマーなどで天板を叩いてみて下さい。
また背板が溝の奥までしっかりと入っているかご確認下さい。

9 最初に組み立てた引出しを左右に気をつけて本体に取り付け、下本体の完成です。

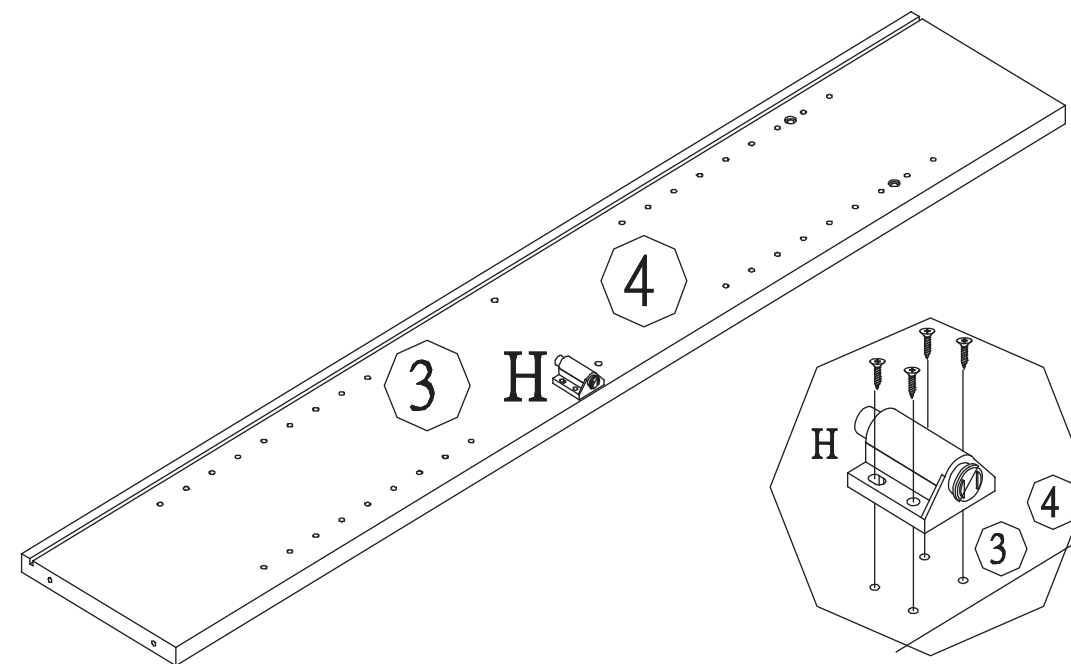


11 ①左側板と⑤左扉を、②右側板と⑥右扉を、D:ヒンジタイプAを使って取り付けます。

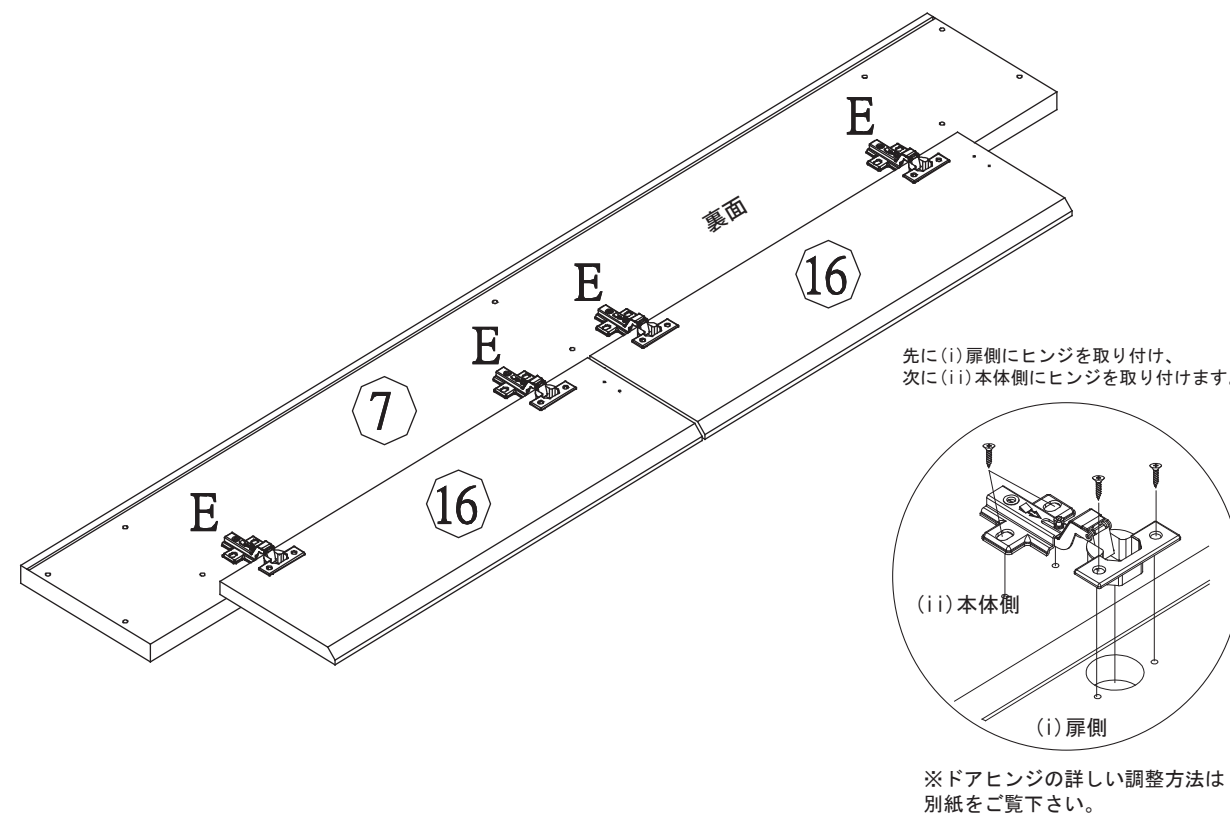


次に、上棚の組み立てを行います。使用する部材は、①～⑬です。

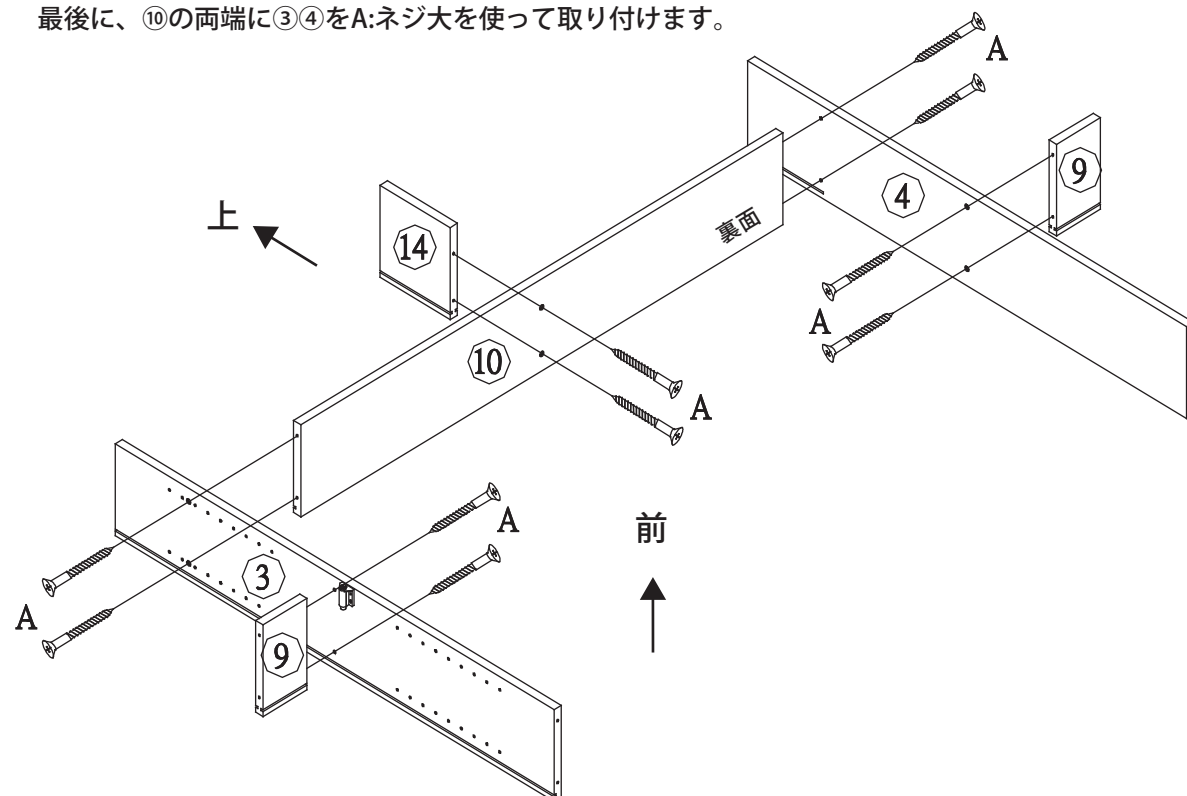
10 まず、③④左右仕切り板にH:マグネットを専用ネジを使って取り付けます。この際、マグネットの向きにご注意下さい。(押すと飛び出る方が前側になります。)



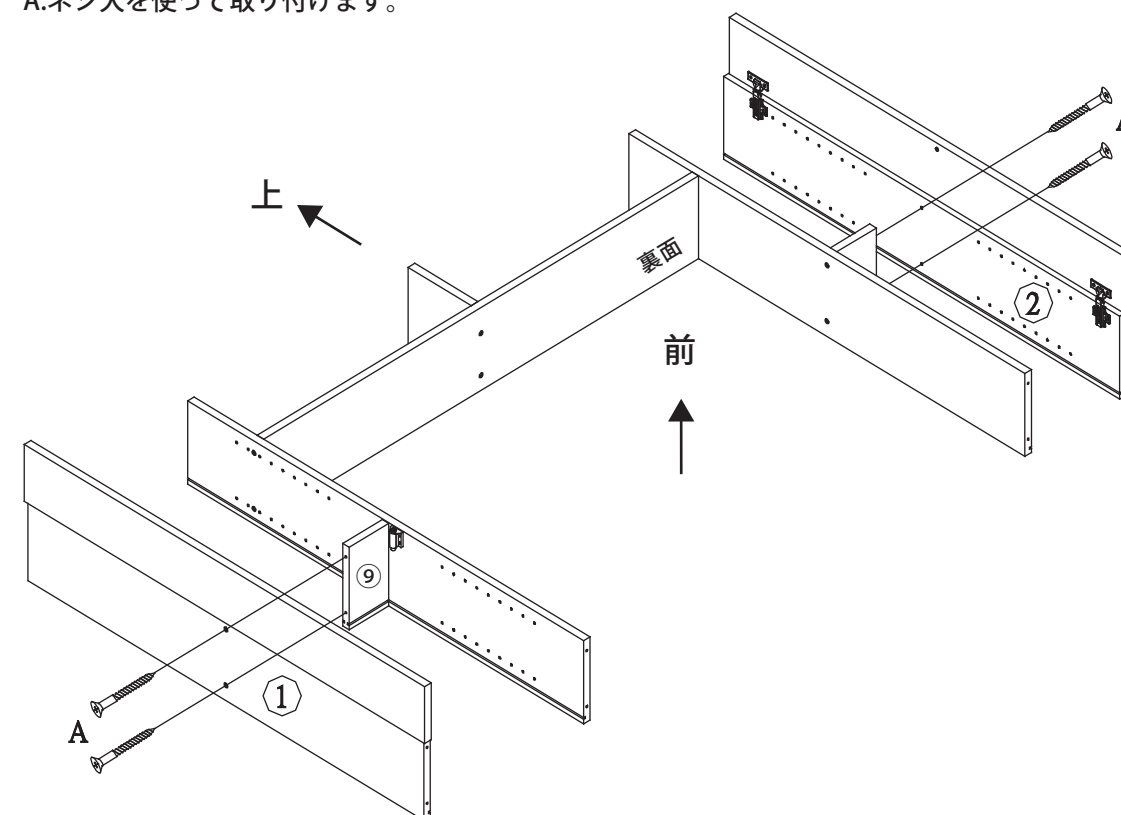
12 同様に、⑦天板の裏面に、⑬中央扉をE:ヒンジBタイプを使って取り付けます。



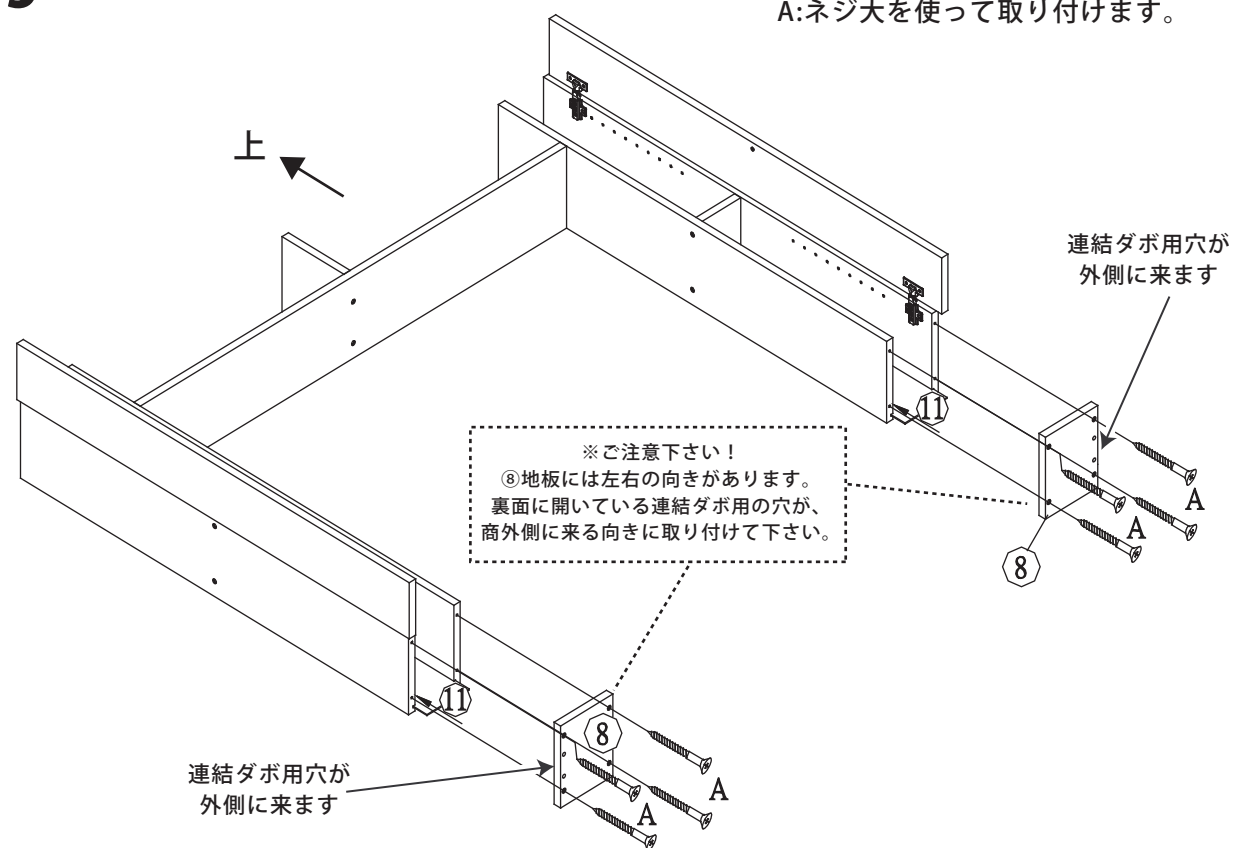
- 13** まず⑩固定板(大)に、⑭中央仕切り板をA:ネジ大を使って取り付けます。
次に③④左右側板に、⑨固定板(小)をA:ネジ大を使って取り付けます。
最後に、⑩の両端に③④をA:ネジ大を使って取り付けます。



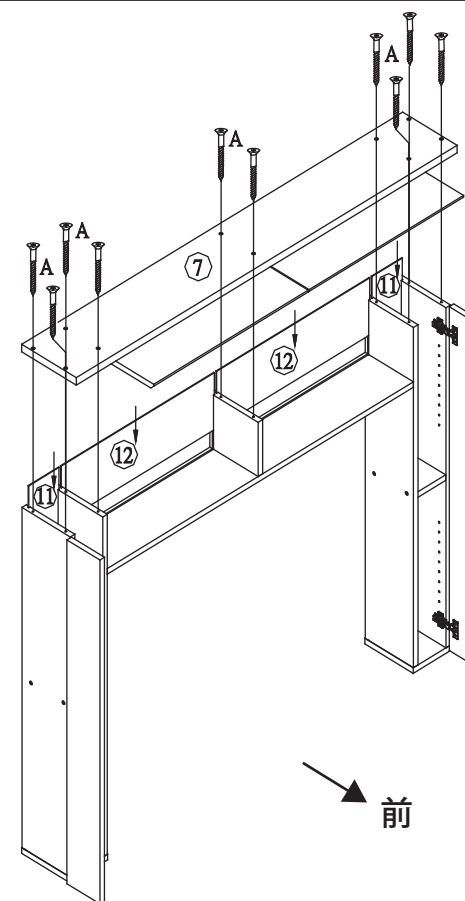
- 14** STEP13で組み立てた本体の⑨固定板の両端に、STEP11で組み立てた①②左右側板をA:ネジ大を使って取り付けます。



- 15** 組み立てた本体に、⑪左右棚用背板(小)を奥までしっかりと差し込み、⑧左右地板をA:ネジ大を使って取り付けます。



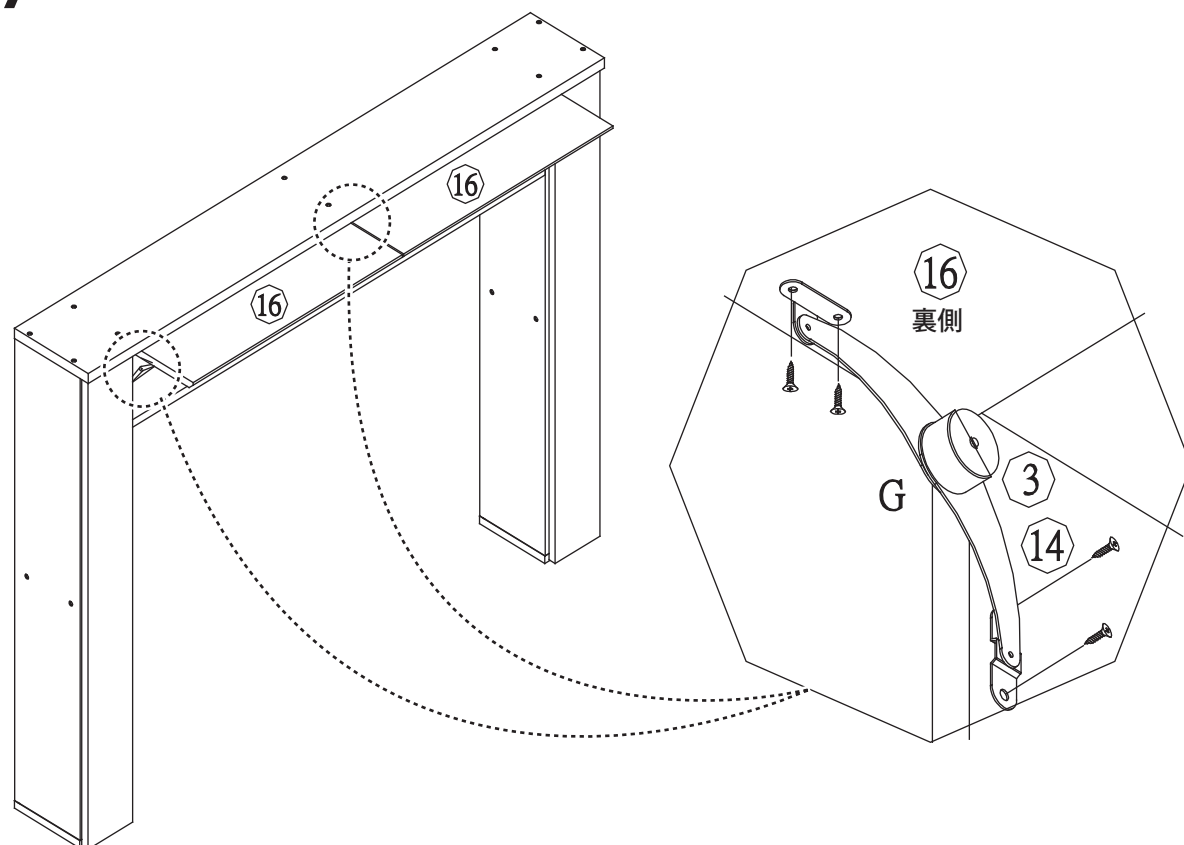
- 16**



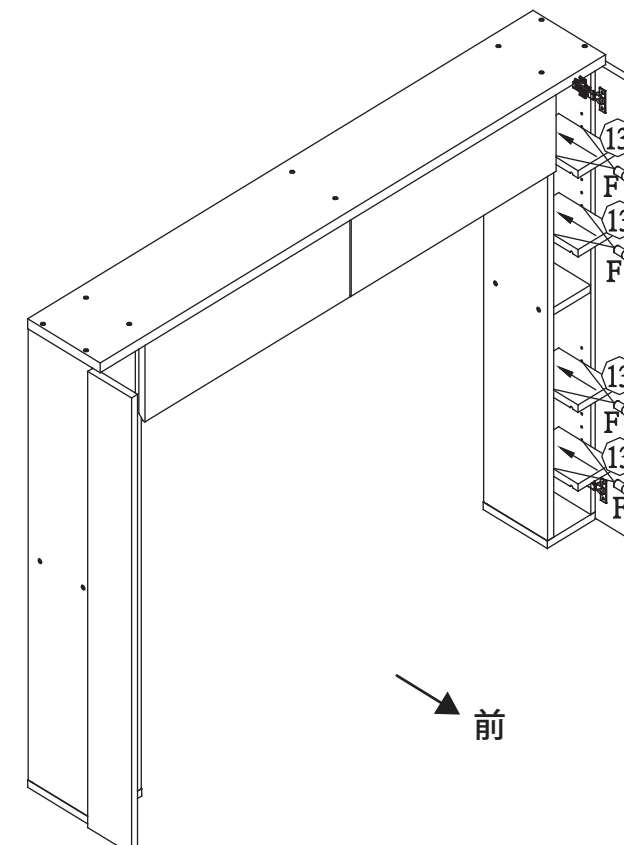
本体を静かに起こし、
⑪左右棚用背板と⑫中央背板を奥まで
しっかりと差し込みます。
さらに、STEP12で組み立てた⑦天板を
A:ネジ大を使って本体に取り付けます。

※この工程は二人以上で行って下さい。

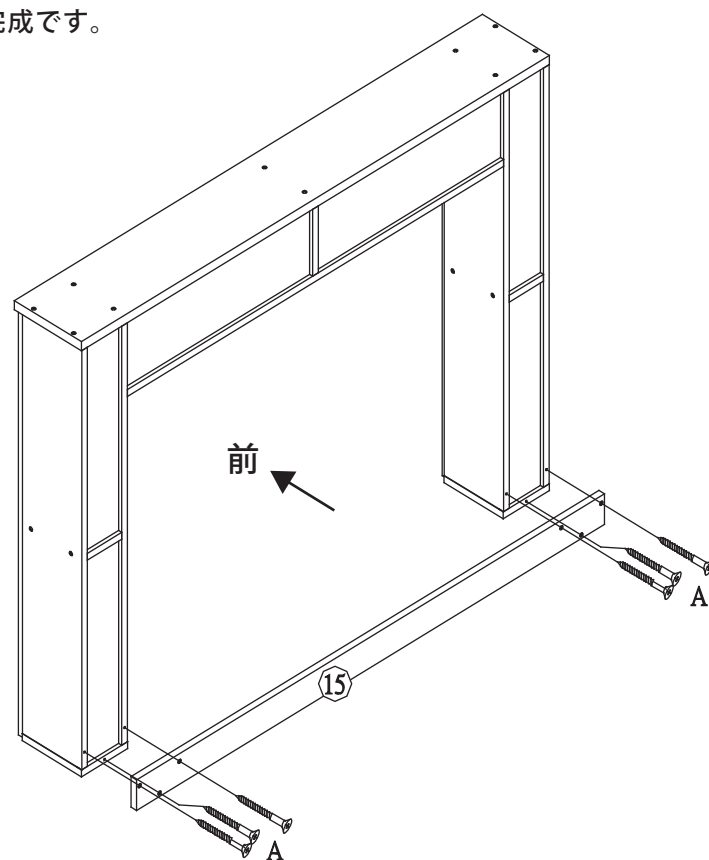
17 ⑬中央扉の裏面と③左仕切り板、⑭中央仕切り板にG:ステーヒンジを専用ネジを使って取り付けます。



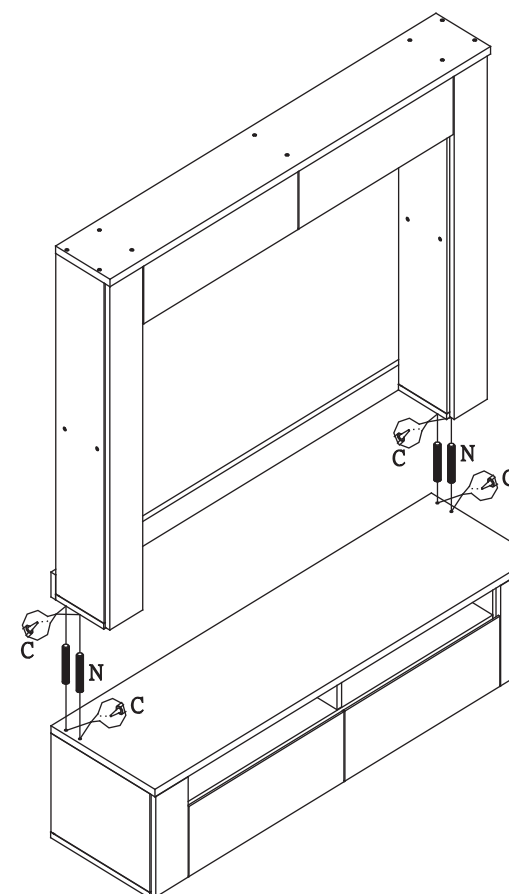
18 左右の収納スペースにF:棚ダボをお好みの位置に取り付け、⑬可動棚を乗せます。



19 上棚の背面に、⑮補強板をA:ネジを使って取り付けます。
以上で、上棚の完成です。



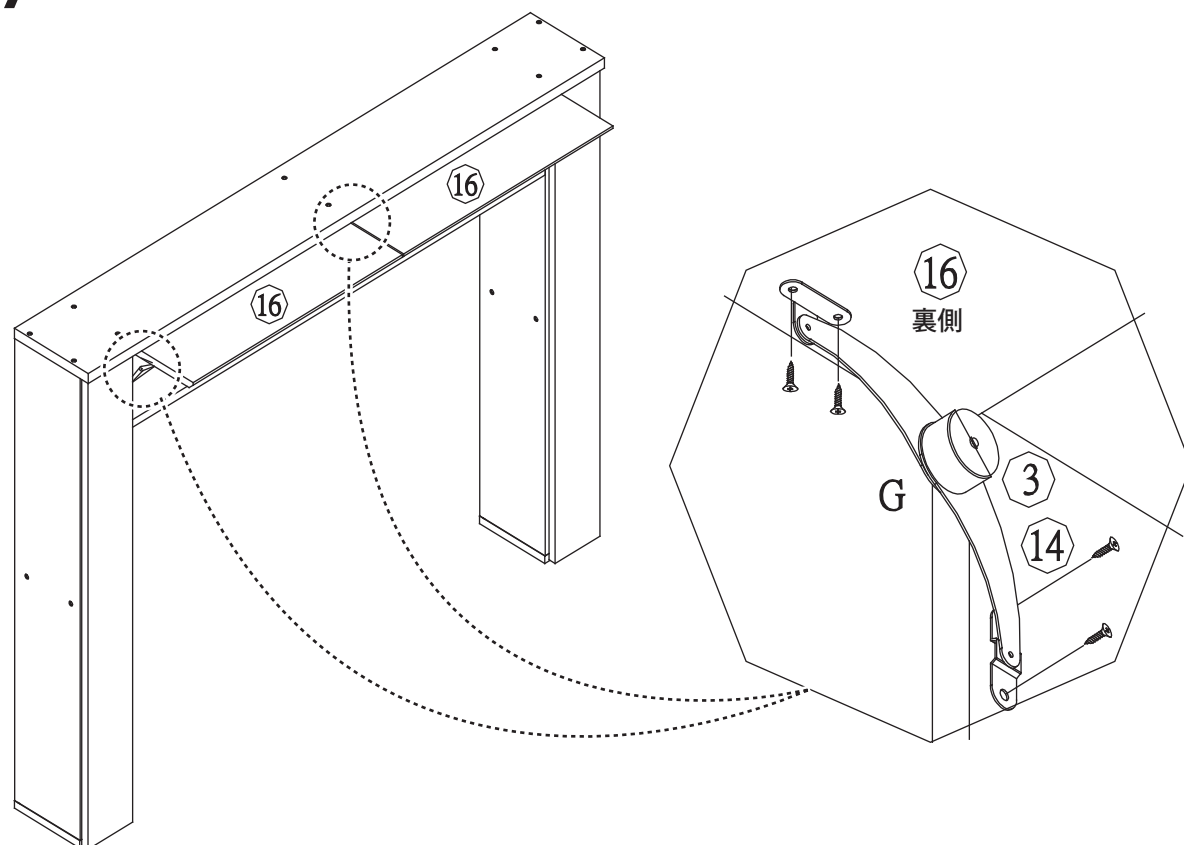
20



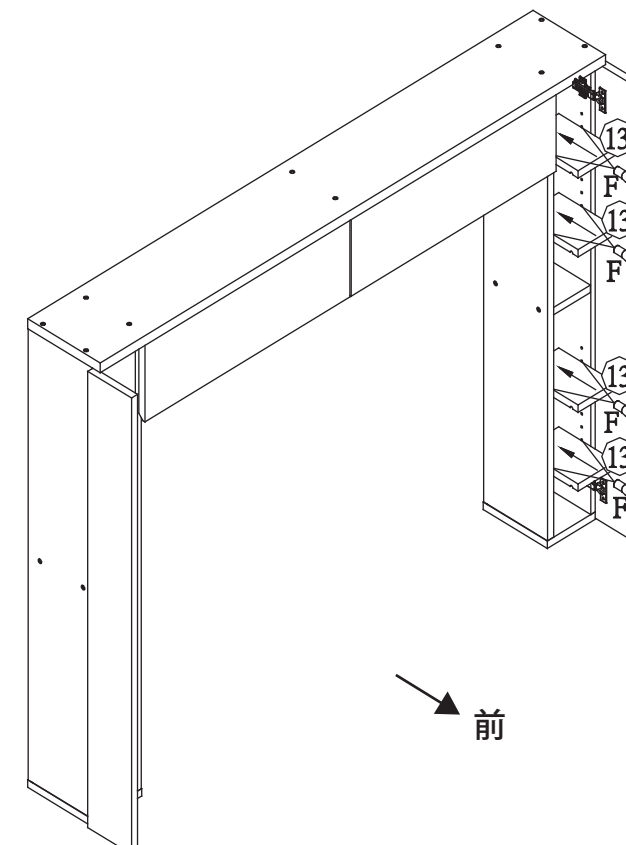
STEP9で組み立てた下本体に
N:連結木ダボをC:ボンドを使って取り付け、
そこにSTEP19で組み立てた上棚を
C:ボンドを使ってしっかりと連結させます。

※この工程は必ず二人以上で行って下さい。

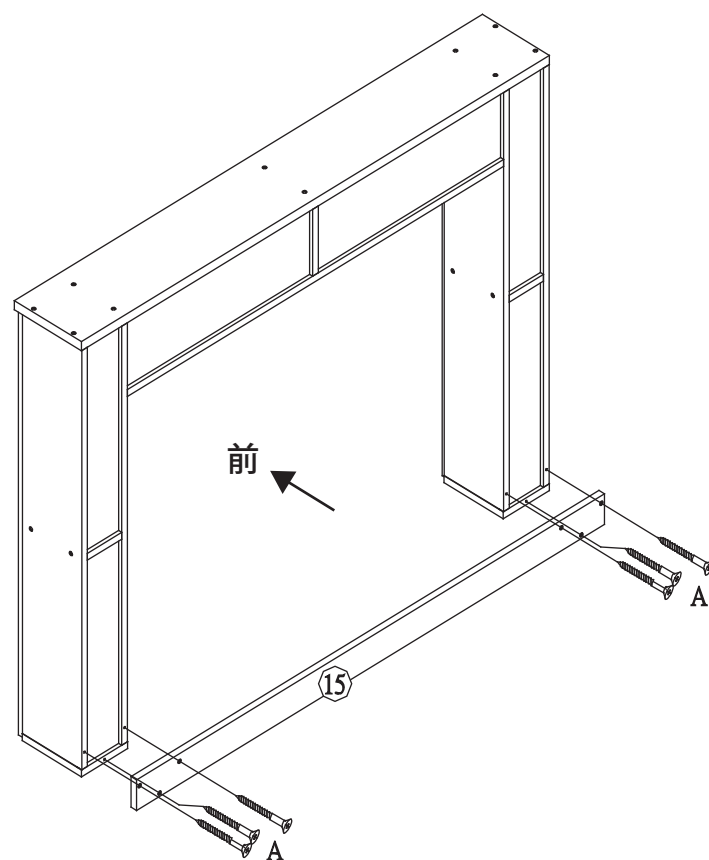
17 ⑬中央扉の裏面と③左仕切り板、⑭中央仕切り板にG:ステーヒンジを専用ネジを使って取り付けます。



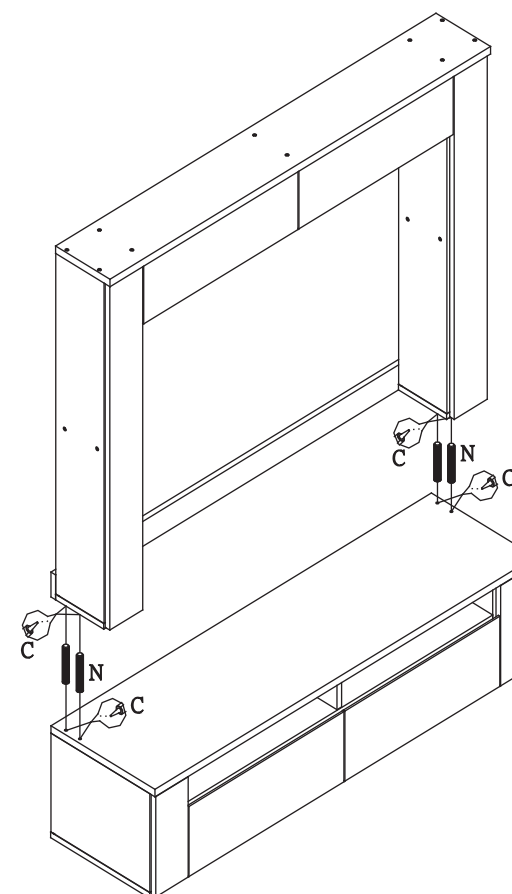
18 左右の収納スペースにF:棚ダボをお好みの位置に取り付け、⑬可動棚を乗せます。



19 上棚の背面に、⑮補強板をA:ネジを使って取り付けます。



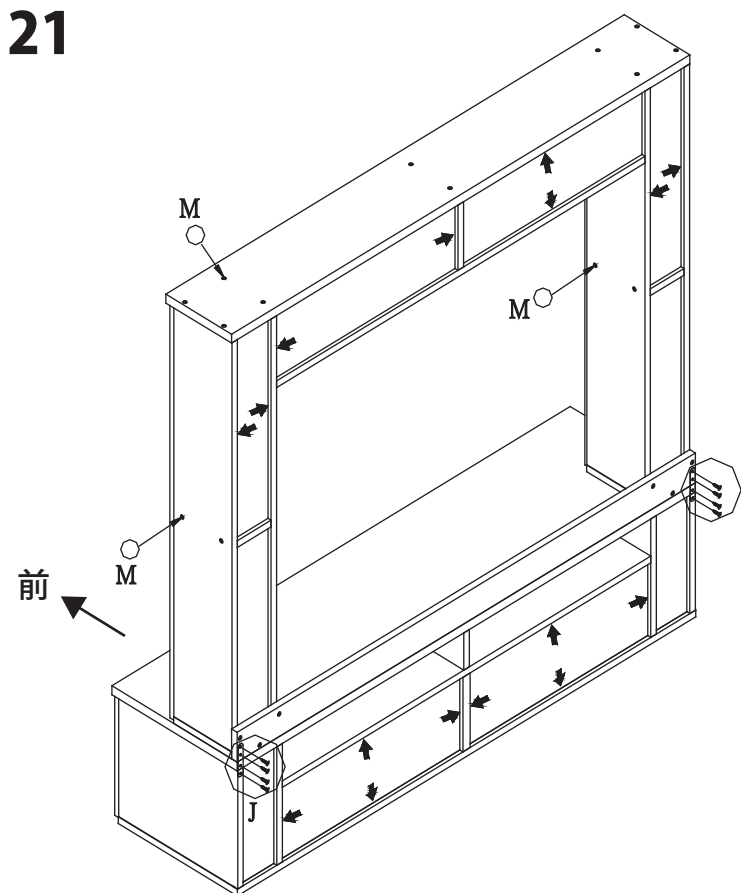
20



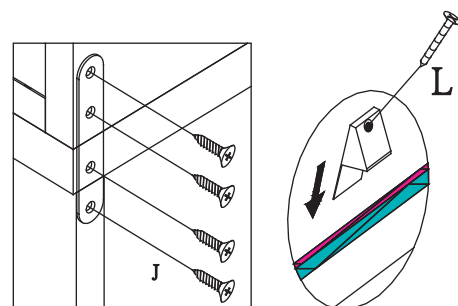
STEP9で組み立てた下本体に
N:連結木ダボをC:ボンドを使って取り付け、
そこにSTEP19で組み立てた上棚を
C:ボンドを使ってしっかりと連結させます。

※この工程は必ず二人以上で行って下さい。

21

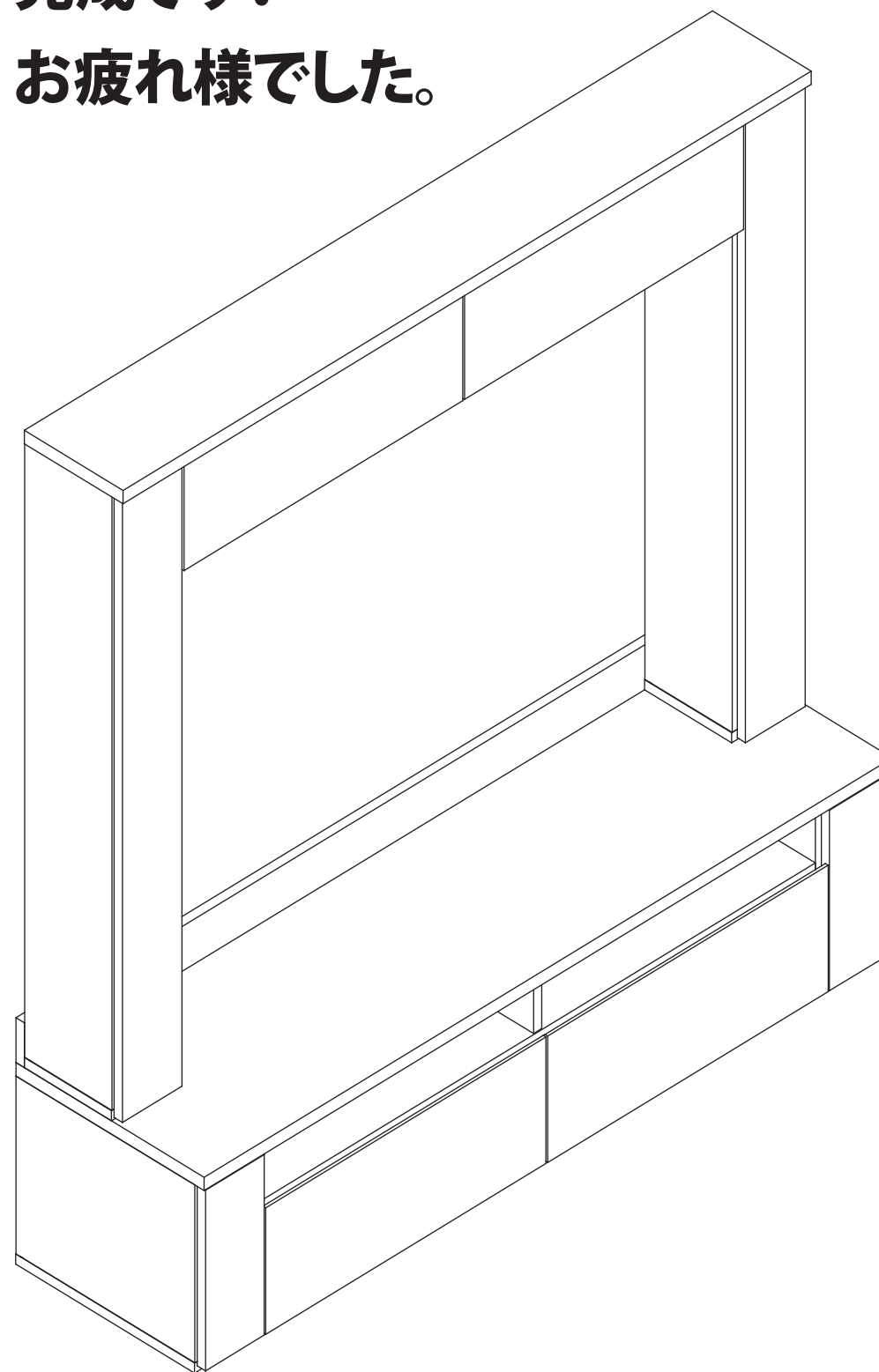


本体の背面に、J:連結プレートを
専用ネジを使って取り付け、
上棚と下本体をしっかりと連結させます。
さらに、図の位置にL:背板ストッパーを
専用ネジを使って取りつけて、
M:ネジ隠しシールを貼りつけます。



背板ストッパーは平らな部分を
背板のすき間に差しこみ、
専用ネジで固定します。

**完成です！
お疲れ様でした。**



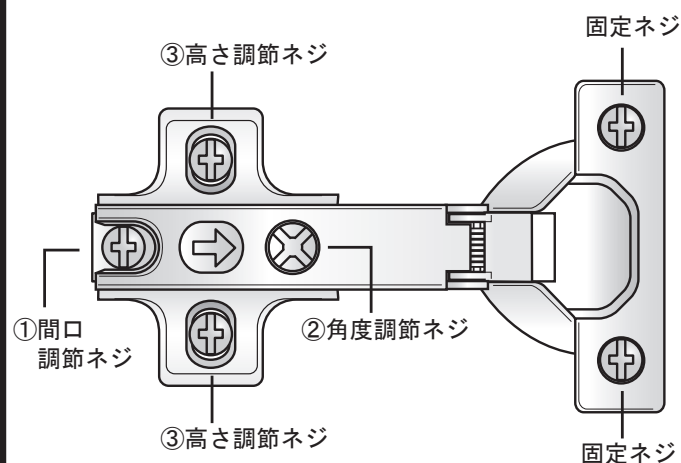
◆ ドアヒンジの調整方法

本体と扉をヒンジで取り付けた際に、扉が傾いたりずれていたりする場合は、ヒンジについている各種ネジを調整することで、扉を美しく取り付ける事ができます。調整するのが「間口調節ネジ」「角度調節ネジ」「高さ調節ネジ」の3箇所です。この3箇所を調節し、キレイに扉を取り付けられるコツをご紹介します。

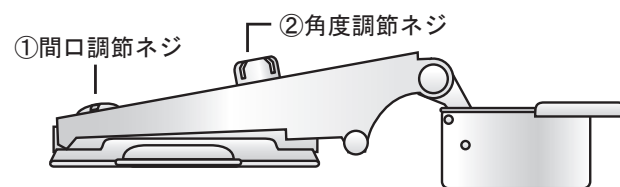
■ヒンジの詳細

ヒンジの各部位を紹介いたします。主に調節するのが

①「間口調節ネジ」②「角度調節ネジ」③「高さ調節ネジ」の3箇所です。



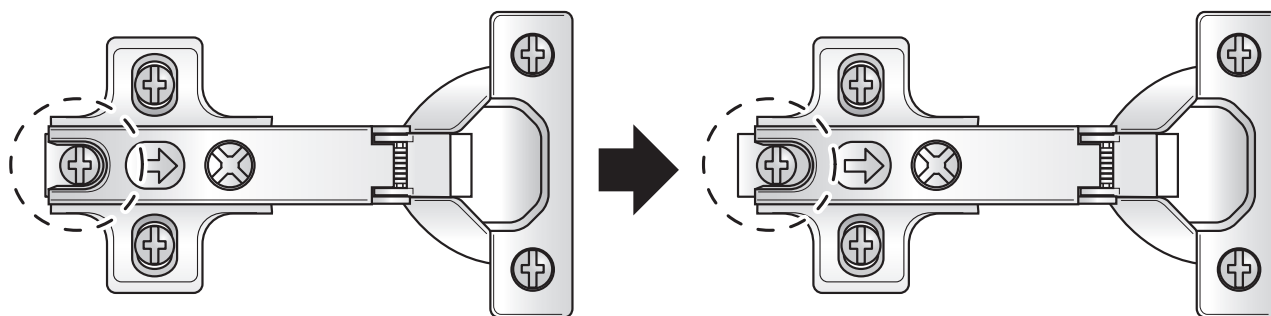
ヒンジ：上面図



ヒンジ：側面図

① 間口調節ネジ…扉同士の隙間を調節します。

まずは「間口調節ネジ」からご説明いたします。「間口調節ネジ」は扉と本体の間隔を調節する部分です。ヒンジを扉に取り付ける前に、事前に「間口調節ネジ」をゆるめて、スライド部分を約3mmほど出してネジを締めます。このスライド部分の出ている幅が広ければ広いほど扉と本体の間隔が広がり、逆に扉と扉の隙間が狭くなってしまいます。



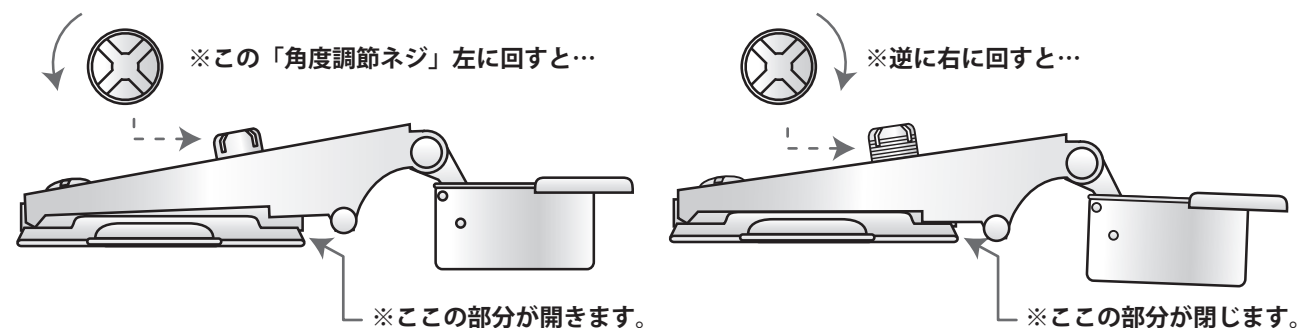
出す前

出した後

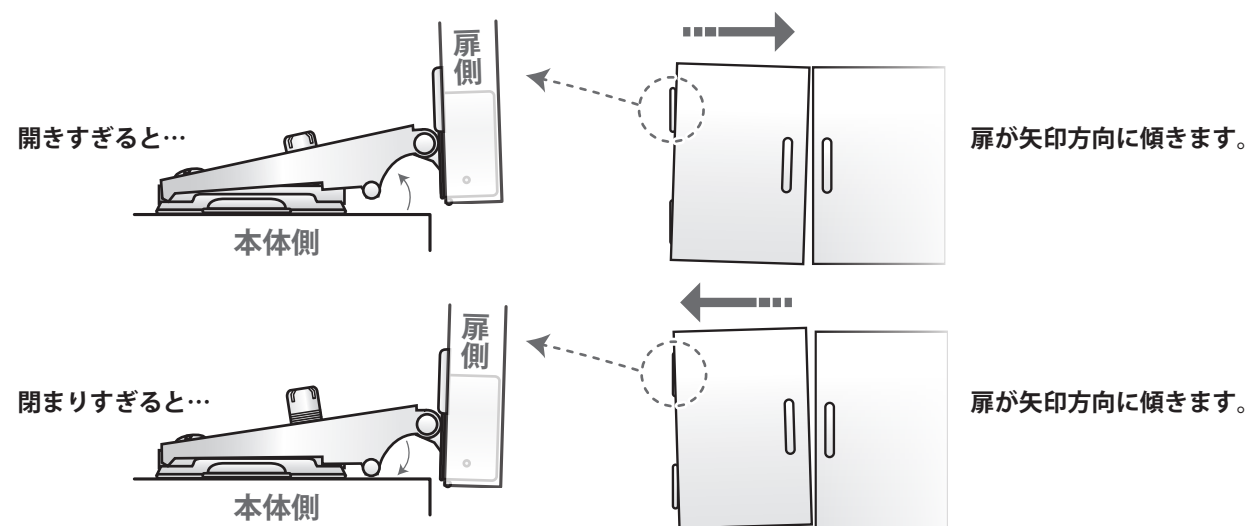
扉を本体に取り付けた後、扉を開閉してみて扉と本体の間隔、扉同士の間隔をご確認ください。先ほど出した約3mmが丁度いい間隔の目安になりますが、もし開閉の際、扉の端が本体に当たったり、扉同士がぶつかったりするようでしたら、再度「間口調節ネジ」を緩めて微調節してください。

② 角度調節ネジ…扉の角度を調節します。

続けて「角度調節ネジ」をご説明いたします。「角度調節ネジ」は扉の角度を調節する部分です。



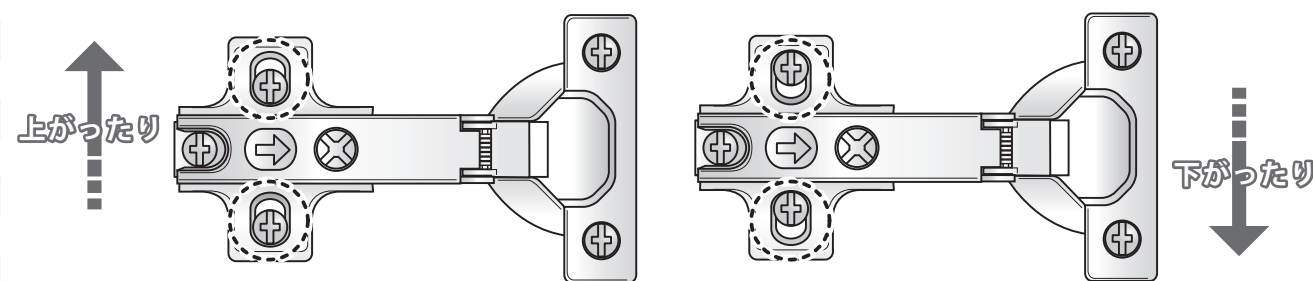
つまり、この角度調整ネジを回すことで扉の角度を調整できるわけですが…



ヒンジは通常上下2つで1セットなので、「角度調節ネジ」を回すときは、上下のヒンジを合わせる必要があります。片方だけ角度が違っていると扉の傾きの原因になりますので、扉の傾きが気になる時は、ネジの回転数(1回転、2回転…)を上下であわせて、ヒンジの角度を同じにしてあげる事で、扉をまっすぐ取り付けることができます。

③ 高さ調節ネジ…扉の高さを調節します。

最後に「高さ調節ネジ」をご説明いたします。「高さ調節ネジ」は扉自体の上下の位置を調節する部分です。



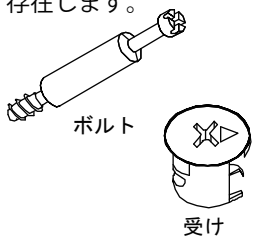
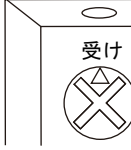
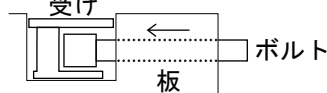
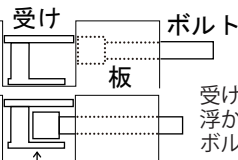
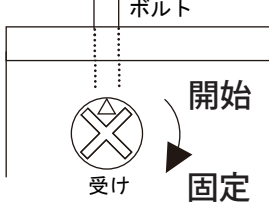
以上のことをふまえて調節することで、キレイに扉を取り付ける事ができます！
少しお手間はかかりますが、ぜひこれらを参考にチャレンジしてみてください！

※必ず、組立前にご確認ください。

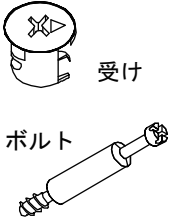
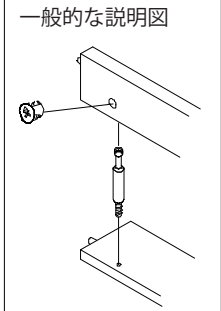
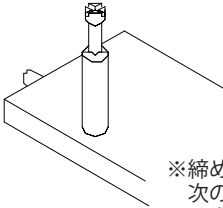
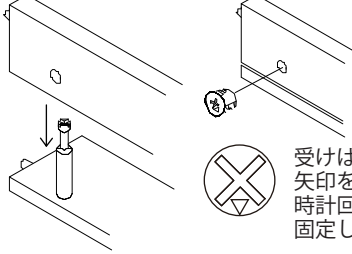
カムロックの取付について、簡単な手順をご紹介します。

- カムロックを使用する商品は、個体差により組説の手順通りだと取り付けにくい場合がございます。
作業前に下記の注意事項をご確認ください。
- 個体により、受けを先に取付た状態だと受けが取付穴に沈みすぎ、ボルトの挿入が難しい場合がございます。
このような場合は、受けを取付穴最奥から少し浮かせることで、ボルトの挿入がし易くなります。

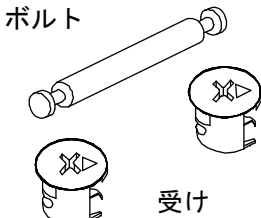
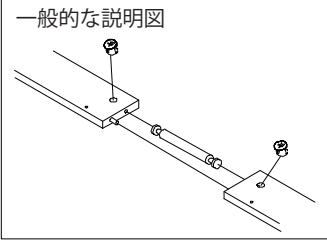
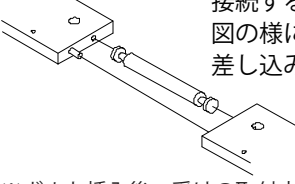
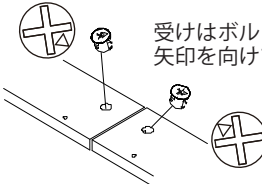
カムロックの基本

カムロックのパーツ	受けの取付向き	受けにボルトを差込む	締め方
カムロックには「ボルト」と「受け」の2種類のパーツが存在します。 	カムロック受けは、三角の目印が穴の開いている向き(ボルト側)に来るように取り付けます。  ※受けには矢印の他にアルファベットなどが刻印されているものがありますので、ご注意ください。	受けにボルトを差込みます。  ※受けが取付穴に沈みすぎる場合※  受けを少し穴の底から浮かせた状態でボルトを差込みます。	カムロック受けを時計回りに締め付け、しっかり固定します。 

ネジタイプのカムロックについて

「ボルト」の片側がネジになっているカムロックの取付手順を説明します。 	一般的な説明図 	
	1.ボルトを板に取付ます ※ネジの締め具合に注意※ ネジ部が丁度隠れる程度が適切です。 受けの取付が難しい際は見直してください。  ※締めすぎたり、緩る過ぎると次の工程が困難になる場合がございます。	2.受けを取付、固定します 接続する板をボルトを取り付けた板と組み合わせ、次にカムロック受けを矢印の向きに注意して取り付け、固定します。  受けはボルトの向きに矢印を向けて取り付け、時計回りに締め付け固定します。

双頭カムロックについて

「受け」を2つ使用するカムロックの取付手順を説明します。 	一般的な説明図 	
	1.ボルトを板に取付ます 接続する2枚の板に図の様にボルトを差し込みます。  ※ボルト挿入後、受けの取付穴をのぞき、ボルトが左右均等に入っているかご確認ください。 均等でない場合は調節してください。	2.受けを取付ます 次にカムロック受けを矢印の向きに注意して取り付けます。  受けはボルトの向きに矢印を向けて取り付けます。

3.カムロックを固定します。

片方を先に締めきってしまうと、反対側のボルトの頭がカムロック受けに上手く咬み合わない場合があります。
必ず両側が噛み合っている事を確認しながら左右交互に締めて下さい。

